



選定企業一覧

D X銘柄 2021 (26社) D Xグランプリ企業を除く

- 清水建設株式会社(建設業)
- アサヒグループホールディングス株式会社(食料品)
- 旭化成株式会社(化学)
- 中外製薬株式会社(医薬品)
- 出光興産株式会社(石油・石炭製品)
- 株式会社ブリヂストン(ゴム製品)
- J F Eホールディングス株式会社(鉄鋼)
- 株式会社小松製作所(機械)
- 日本電気株式会社(電気機器)
- ヤマハ発動機株式会社(輸送用機器)
- 株式会社トプコン(精密機器)
- 凸版印刷株式会社(その他製品)
- 東日本旅客鉄道株式会社(陸運業)
- S Gホールディングス株式会社(陸運業)
- 日本郵船株式会社(海運業)
- 日本航空株式会社(空運業)
- ソフトバンク株式会社(情報・通信業)
- トラスコ中山株式会社(卸売業)
- 株式会社セブン&アイ・ホールディングス(小売業)
- 日本瓦斯株式会社(小売業)
- 株式会社りそなホールディングス(銀行業)
- 東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社(証券、商品先物取引業)
- M S & A Dインシュアランスグループホールディングス株式会社(保険業)
- 東京センチュリー株式会社(その他金融業)
- 株式会社GA technologies(不動産業)
- 株式会社ベネッセホールディングス(サービス業)

D X注目企業 2021 (20社)

- 日清食品ホールディングス株式会社(食料品)
- 株式会社ワコールホールディングス(繊維製品)
- ユニ・チャーム株式会社(化学)
- 大日本住友製薬株式会社(医薬品)
- A G C株式会社(ガラス・土石製品)
- 三菱重工業株式会社(機械)
- 富士通株式会社(電気機器)
- 大阪瓦斯株式会社(電気・ガス業)
- A N Aホールディングス株式会社(空運業)
- 日本電信電話株式会社(情報・通信業)
- 三井物産株式会社(卸売業)
- 住友商事株式会社(卸売業)
- H a m e e株式会社(小売業)
- 株式会社三井住友フィナンシャルグループ(銀行業)
- 株式会社大和証券グループ本社(証券、商品先物取引業)
- S B Iインシュアランスグループ株式会社(保険業)
- S O M P Oホールディングス株式会社(保険業)
- リコーリース株式会社(その他金融業)
- 三菱地所株式会社(不動産業)
- ユナイテッド株式会社(サービス業)

デジタル×コロナ対策企業(11社)

- 製造・物流戦略部門
- ヤマトホールディングス株式会社(陸運業)
- アスクル株式会社(小売業)
- カスタマーケア部門
- 株式会社資生堂(化学)
- コニカミノルタ株式会社(電気機器)
- 東急不動産ホールディングス株式会社(不動産業)
- 業務効率化部門
- 株式会社大和証券グループ本社(証券、商品先物取引業)
- 東京海上ホールディングス株式会社(保険業)
- レジリエンス部門
- サントリー食品インターナショナル株式会社(食料品)
- 日本電気株式会社(電気機器)
- アステリア株式会社(情報・通信業)
- 三井不動産株式会社(不動産業)

「D X銘柄 2021」「D X注目企業 2021」を選定 デジタル技術を前提としたビジネスモデル・経営変革に取り組む上場会社を選定

経済産業省は、東京証券取引所と共同で「デジタルトランスフォーメーション銘柄(D X銘柄)」を選定し、6月7日、「D X銘柄 2021」「D X注目企業 2021」を選定した。D X銘柄とは、デジタル技術の活用を前提としたビジネスモデル・経営変革に取り組む上場会社を選定した。これらは、単に導入した情報システム上のデータ活用にとどまらず、デジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを開発している企業を選定している。

「D X銘柄 2021」は、東京証券取引所と共同で選定した。D X銘柄とは、デジタル技術の活用を前提としたビジネスモデル・経営変革に取り組む上場会社を選定した。これらは、単に導入した情報システム上のデータ活用にとどまらず、デジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを開発している企業を選定している。

「繊維産業のサステナビリティ」に関する検討会 報告書を取りまとめる

経済産業省は、繊維産業におけるサステナビリティの取組を促進するための今年2月に、繊維産業のサステナビリティに関する検討会を設置し、議論、検討を進めてきた。12日、検討会の議論、検討を踏まえ、報告書を取りまとめた。サステナビリティについては、2015年のSDGs(Sustainable Development Goals)の採択以降、国内外において、官民での取組が活発になっている。

日本の繊維産業では、一部の企業においてサステナビリティの取組は徐々に始まっているものの、長く複雑と言われるサプライチェーンの管理や取組が十分にできていないと言われている状況にある。

こうした状況を踏まえ、繊維産業におけるサステナビリティへの取組を促進するため、今年2月に、繊維産業のサステナビリティに関する検討会を設置し、計6回にわたり議論、検討を進めてきた。

報告書は、検討会の議論、検討結果を取りまとめた。今後とも、関係機関等と連携し、サステナビリティの取組を促進していくこととしている。

国際モダンホスピタルショー 2021 7月28日(水)・29日(木) パシフィコ横浜 展示ホールB・C・D

国際モダンホスピタルショー2021は、病院をはじめ、保健・医療・福祉分野における質の向上、充実に役立つ機器、製品、システム、サービスなどを幅広く展示し、最新情報の発信および情報交流の場を提供することにより、健康福祉社会の発展に寄与する。

主催 一般社団法人日本病院会 / 一般社団法人日本経営協会

特別協力 公益社団法人日本看護協会

国際モダンホスピタルショー 2021 概要

名称 [和文] 国際モダンホスピタルショー 2021 [英文] INTERNATIONAL MODERN HOSPITAL SHOW 2021 [英文略称] IMHS2021

目的 病院をはじめ、保健・医療・福祉分野における質の向上、充実に役立つ機器、製品、システム、サービスなどを幅広く展示し、最新情報の発信および情報交流の場を提供することにより、健康福祉社会の発展に寄与する。

主催 一般社団法人日本病院会 / 一般社団法人日本経営協会

特別協力 公益社団法人日本看護協会

後援(予定) 総務省、消防庁、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、東京都、日本貿易振興機構(ジェトロ)、(公益社)日本医師会、(公益社)日本歯科医師会、(公益社)日本薬剤師会、(公益社)日本人間ドック学会、(一般財)医療情報システム開発センター、(一般財)日本医療情報センター、(公益財)医療機器センター、(一般財)医療関連サービス振興会、(公益社)全国自治体病院協議会、(公益社)全日本病院協会、(公益社)日本精神科病院協会、(一般社)日本医療法人協会、(一般社)全国公私病院連盟、(一般社)日本病院薬剤師会、(公益社)日本栄養士会、(公益社)日本診療放射線技師会、(一般社)日本臨床衛生検査技師会、(一般社)日本作業療法士協会、(公益社)日本理学療法士協会、(公益財)日本訪問看護財団、(公益財)日本医療機能評価機構、(一般社)日本民間放送連盟、(公益社)日本医療社会福祉協会、(一般社)日本慢性期医療協会

協賛(予定) (社福)全国社会福祉協議会、(一般社)日本医療機器産業連合会、(一般社)日本画像医療システム工業会、(一般社)電子情報技術産業協会、日本薬科機器協会、(一般社)日本医療機器工業会、(一般社)日本医療機器テックノロジー協会、日本理学療法機器工業会、日本医用光学機器工業会、(一般社)日本分析機器工業会、(一般社)日本衛生検査所協会、(一般社)日本衛生材料工業連合会、(公益社)日本ホームヘルス機器協会、(一般社)日本医療福祉建築協会、(一般社)保健医療福祉情報システム工業会、(一般社)東京都医療社会事業協会、(公益社)日本臨床工学技士会、東京商工会議所、(公益財)テクノエイド協会、(公益社)全国老人保健施設協会、(一般財)全国老人医療財団、(一般社)日本医療情報学会、(公益社)全国老人福祉施設協議会、(公益社)全国有料老人ホーム協会、(一般社)日本ロボット工業会、(一般社)日本産業・医療ガス協会、(商組)日本医療機器協会、(一般社)全国デ・ケア協会、(一般社)日本医療機器学会、(一般社)Medical Excellence JAPAN

開催期間 ・展示会: 2021年7月28日(水)・29日(木)2日間 10:00~17:00 ・ホスピタルショー オンライン: 2021年6月21日(月)~8月31日(火)

会場 パシフィコ横浜 展示ホールB・C・D 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1【アクセス】

入場 事前登録制

主催者企画 全体構成 出展者展示ゾーン 主催者企画

(1) 日本病院会コーナー (2) 現場のひらめきをカタチに! みんなのアイデア de 賞 特別企画カンファレンス・セミナー (3) 日本病院会セミナー (4) ホスピタルショウカンファレンス (5) 日本看護協会特別セミナー (6) 出展者プレゼンテーションセミナー

「東京ビヨンド・ゼロ・ウィーク 2021」を開催

我が国は、昨年1月に「革新的環境イノベーション戦略」をまとめた世界をリードするものとともに、国際連携にも積極的に取り組んでいく。

「東京ビヨンド・ゼロ・ウィーク 2021」は、この取組の一環として、経済産業省は、昨年に引き続き、カーボンニュートラル・ゼロに向けたエネルギー・環境関連の国際会議を集中的に開催する。東京・ゼロ・ウィーク2021を皮切りに、国際会議の開催を共有し、技術的知見を各国と共有し、国際的な協力関係を構築していくことにより、国際的なプラットフォームをリードするものとともに、国際的な協力関係を構築していく。

本年10月、経済産業省は8つの会議を「東京ビヨンド・ゼロ・ウィーク 2021」として一体的に開催する。

我が国は、昨年10月に2050年までのカーボンニュートラルを宣言した。その実現に向け、あらゆる施策を動員して率先して取り組むことも、世界全体のカーボンニュートラル、更には過去の2020年以降のCO2削減(ビヨンド・ゼロ)に向け、革新的技術の確立と社会実装を目指す。世界の脱炭素化をリードしていく。

(1) 第1回アジアグリーン成長 パートナシップ閣僚会合

日時 10月4日(月曜日)

場所 都内会場とオンラインでのハイブリッド形式(予定)

概要 アジア等新興国において経済成長とカーボンニュートラルを同時実現するためには、各国の事情を考慮し、あらゆるエネルギー源・技術を活用した、多様かつ現実的なエネルギー・技術の活用が必要であり、こうした考え方について参加国間で議論を深め、国際社会にも発信していく予定。なお、本会合は、日本の主催により、今回、初めて開催するもの。

(3) 第4回水素閣僚会議

日時 10月4日(月曜日)

場所 都内会場とオンラインでのハイブリッド形式(予定)、オンライン配信を実施予定。

共催 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

概要 水素閣僚会議は、水素の利活用をグローバルな規模で推進し、関係各国が歩調を合わせ一層の連携を図る場として、2018年に世界で初めて日本で開催され、本年は4回目の開催となる。水素社会実現に向けた世界の気運を引き続き維持拡大するため、本会議を各国の水素社会構築に向けた取組を共有する場とし、国際連携のより一層の強化を図る。

(5) 第3回TCFDサミット

日時 10月5日(火曜日)

場所 都内会場とオンラインでのハイブリッド形式(予定)、オンライン配信を実施予定。

共催 T C F D コンソーシアム、The World Business Council for Sustainable Development(WBCSD)

概要 今回のTCFDサミットでは、産業界・金融界のリーダーに更なるTCFD提言の活用に向けて議論し、適切な投資判断の基盤となる開示の拡充を促す。また、トランジションに関する情報開示の在り方を含めた議論を通じ、企業が気候変動を機会として飛躍する取組を示し、国際的に、ファイナンスが企業のカーボンニュートラル実現に向けた取組を加速する流れを作り出すことを目指す。

(7) 第8回ICCF

日時 10月6日(水曜日)・7日(木曜日)

場所 都内会場とオンラインでのハイブリッド形式(予定)、オンライン配信を実施予定。

共催 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

概要 多様なステークホルダーによる、中長期的エネルギー・環境イノベーションに関する議論を国内外へ広く発信する。大局的な観点から議論するICCF本会議と、特定の技術分野等に関して議論する分科会で構成されており、カーボンニュートラル達成に向けた道筋を示すべく、各ステークホルダー及び技術分野における具体的なアクションについて議論を深めていく。

(2) 第3回カーボンリサイクル産学官国際会議

日時 10月4日(月曜日)

場所 都内会場とオンラインでのハイブリッド形式(予定)、オンライン配信を実施予定。

共催 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

概要 本会議では、世界のカーボンニュートラル実現のキーテクノロジーであるカーボンリサイクルについて、我が国の取組の進捗等を発信するとともに、世界の産・学・官の観智を集め、最新の知見の共有や社会実装に向けた取組に関する活発な議論を行う。これにより、国際連携の更なる強化や将来的な社会実装に向けた技術開発の加速化を目指す。

(4) 第10回LNG産消会議

日時 10月5日(火曜日)

場所 オンライン(配信予定)

共催 一般財団法人アジア太平洋エネルギー研究センター(APERC)

概要 LNG産消会議は、LNGの長期的な需給見通しの共有と取引市場の透明化に向けた連携を生産国・消費国間で図るプラットフォームとして開催し、10回目の節目を迎える。本年は、これまで日本、そして世界のエネルギー安定供給と持続的成長を支えてきたLNGが、世界的な脱炭素化の流れの中で、次の10年に求められる役割と期待について議論を深める予定。

(6) 第1回燃料アンモニア国際会議

日時 10月6日(水曜日)

場所 オンライン(配信予定)

共催 一般社団法人クリーン燃料アンモニア協会(CFAA)

概要 地球温暖化対策に有効な燃料アンモニアの安定的、低廉で柔軟性のあるサプライチェーン・市場を構築していくために、国家の垣根を越えた関係者の国際連携基盤を構築すべく、燃料アンモニア関係国・企業・関係機関による国際会議を開催する。同会議の中では、燃料アンモニアの国際的な認知向上とともに、需給拡大に向けた取組の方向性について議論する。なお、本会合は、日本の主催により、今回、初めて開催するもの。

(8) 第3回RD20(リーダーズ・セッション)

日時 10月8日(金曜日)

場所 都内会場とオンラインでのハイブリッド形式(予定)、オンライン配信を実施予定。

主催 国立研究開発法人産業技術総合研究所

概要 カーボンニュートラルの実現に向けたイノベーション創出に繋げるため、クリーンエネルギー技術分野におけるG20の研究機関のリーダーを集め、各国研究機関のアライアンス強化、国際的な共同研究開発の展開等について議論する。リーダーズ・セッションでは、低炭素社会に向けた地球規模の連携について研究機関のリーダーによるハイレベルな議論を実施する。また、これに先立ち9月29日(水曜日)~10月1日(金曜日)に開催するテクニカルセッションでは、個別の技術テーマ(脱炭素化のセクター別アプローチ、水素の社会的受容性、エネルギー管理システム)について各国の専門家によるパネルディスカッション等を実施する。